

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

項目 番号	第7期介護保険事業計画に記載の内容				令和元年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
1	①自立支援、介護予防、重度化防止	四街道市は、前期高齢者の割合が高かったが、徐々に後期高齢者へ移行しているため、介護認定者の急激な増加が見込まれます。それを緩和するために、一般介護予防事業において、住民主体の通いの場を充実させ、自主活動による予防活動の推進を進める必要があります。	一般介護予防の実施。 「週いち筋力体操」等により地域活動組織の育成・支援を行うとともに、活動を支援するボランティア等の養成を行っています。また、介護予防の必要性や具体的な介護予防活動についての普及啓発を図るため、各種教室や講座を開催し、自宅での介護予防のための取り組みを支援していきます。	介護予防の自主活動組織を30か所、実参加者数400人。 自主活動を支援するボランティアの養成。 介護予防の普及啓発のための各種講座の開催。	自主活動組織24か所、実参加者数618人(平均参加者数332人)。 自主活動組織の中からボランティアになりうる方に、継続支援のための講座を実施(1回) 認知症予防、尿もれ予防、口腔機能向上等の教室・講座を実施	◎	高齢者人口に対して、自主活動組織の数はまだ少ないため、引き続き活動の立ち上げ支援を進めると共に、活動継続への支援が必要である。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を進め、自立支援、介護予防、重度化防止を図っていく。
2	②介護給付等費用の適正化	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行っています。 また、要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出しています。	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行っています。 また、要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出しています。 今後も事務の効率的な実施に向けた改善を図りつつ、介護給付費の適正化に努めます。	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行う。 要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出する。 事務の効率的な実施に向けた改善を図りつつ、介護給付費の適正化に努める。	介護給付費の適正化のためのシステムを活用し、過剰な介護保険サービスの利用の疑いがあるケアプランについて、ケアマネジャーに点検を促す等、ケアプランの点検を行いました。 また、要介護認定者等が利用した介護サービスを確認し、身に覚えのない介護サービスの利用履歴がないかを確認するために、介護サービスに要した費用を記載した介護給付費通知を发出しました。	◎	事務の効率的な実施及びそれに向けた改善策。

・数値目標があるものは、達成率(◎:80%以上、○:60~79%、△:30~59%、×:29%以下)により自己評価を行っています。

・達成率が出しにくい場合、数値目標を設定していない場合は、「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により自己評価を行っています。